

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第169回

令和4年 7～ 9月期 実績

令和4年10～12月期 予測

令和4年10月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内14商工会
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、
三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、
三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業46 建設業48 小売業71 サービス業66
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和4年7月～9月期実績、及び令和4年10月～12月期見通し
5. 調査時点 令和4年9月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、
 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

- 中国財務局 (中国地方の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/stat/keiki/index.html>

- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/273/1244079054510.html>

産業全体の概況

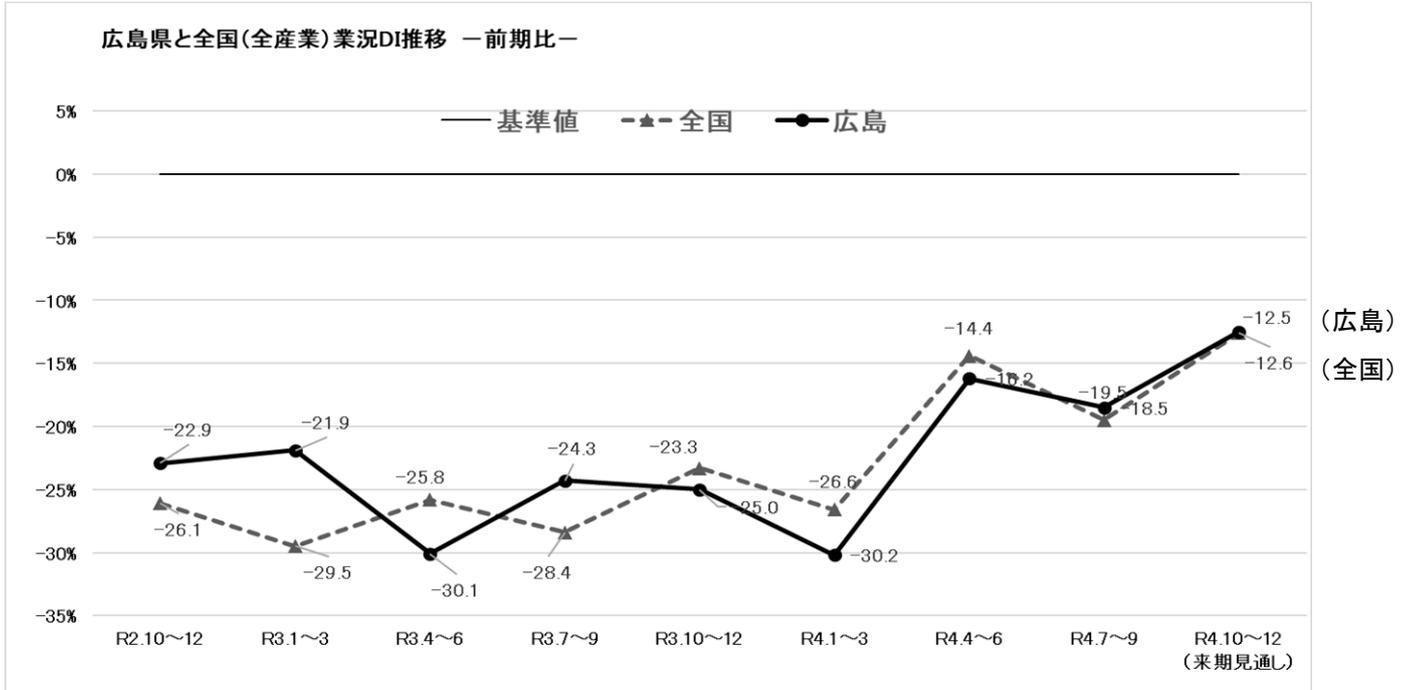
1.ポイント

※(独)中小企業基盤整備機構「第169回中小企業景況調査(2022年7-9月期)のポイント」より

- ・中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに低下
- ・全産業の原材料・商品仕入単価DIは過去最高値を記録
- ・小売業とサービス業で価格転嫁に遅れ

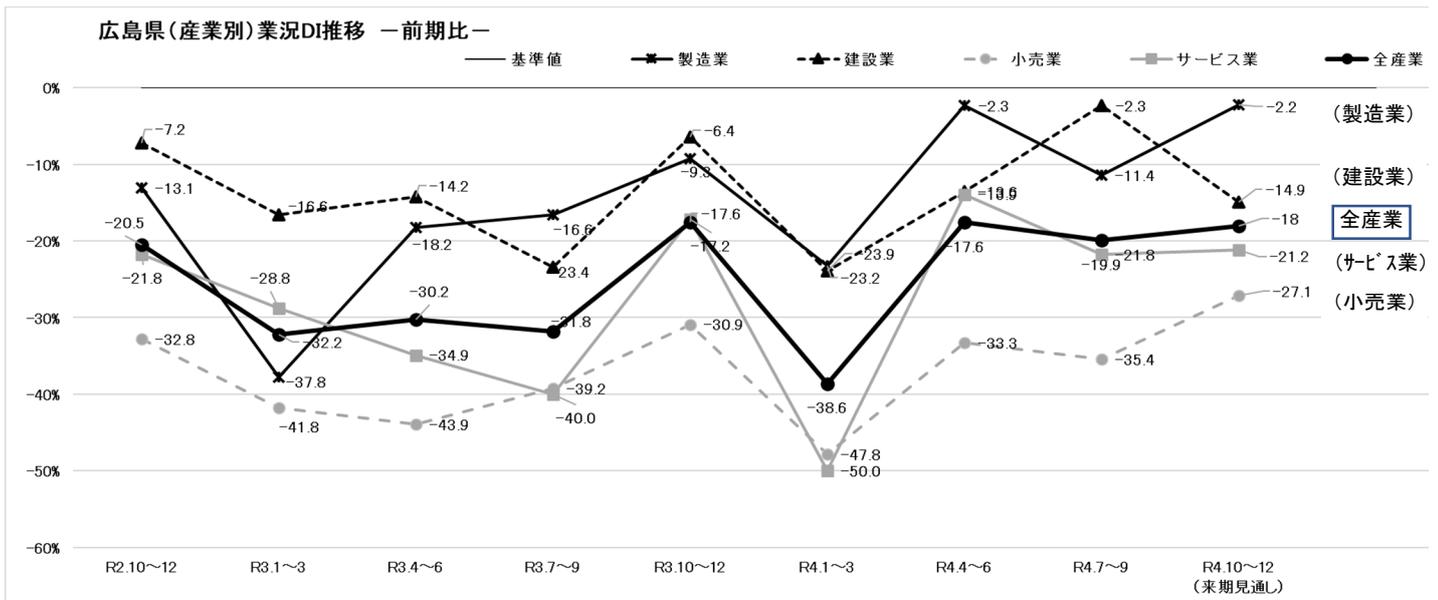
2.広島県と全国(全産業)

※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3.広島県(産業別)

※商工会地域のみ



製造業（商工会地域）

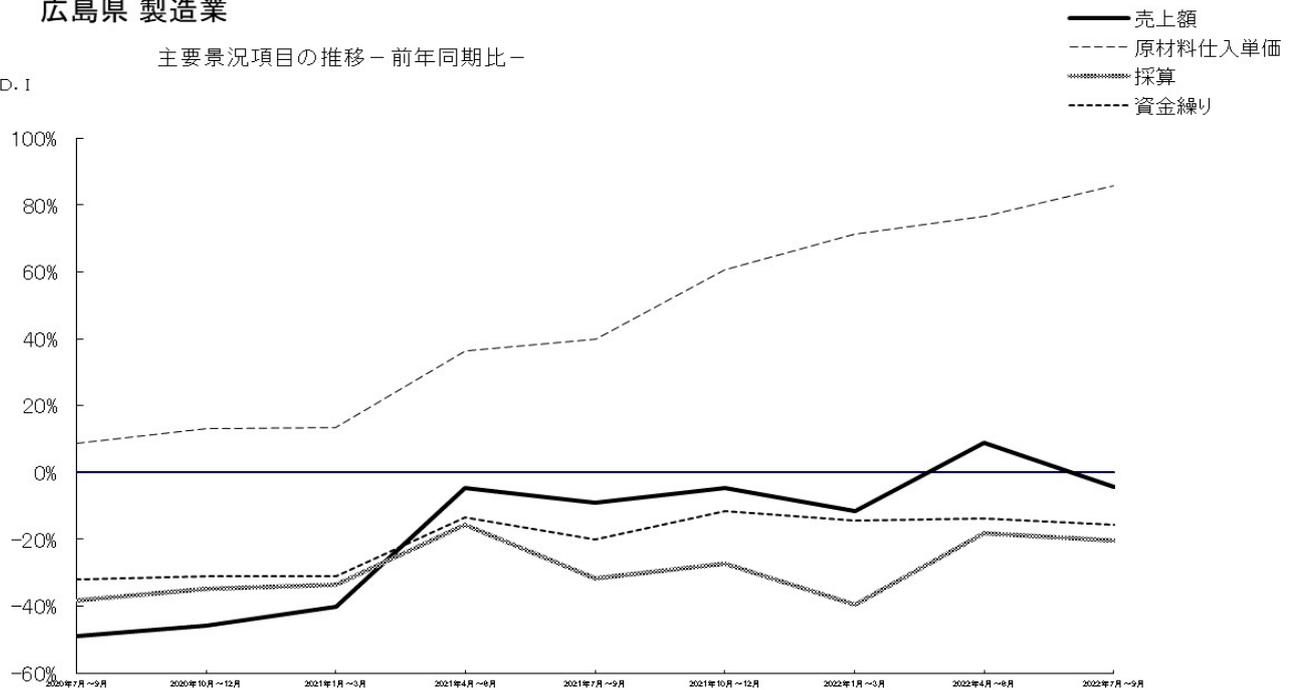
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R4.4~6	(今期) R4.7~9	前期との比較	R4.10~12 今期との比較
売上額	8.9	-4.4	↘	4.4 ↗
原材料仕入単価	76.7	85.7	↗	71.4 ↘
採算	-18.2	-20.4	↘	-13.6 ↗
資金繰り	-13.7	-15.5	→	-6.7 ↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



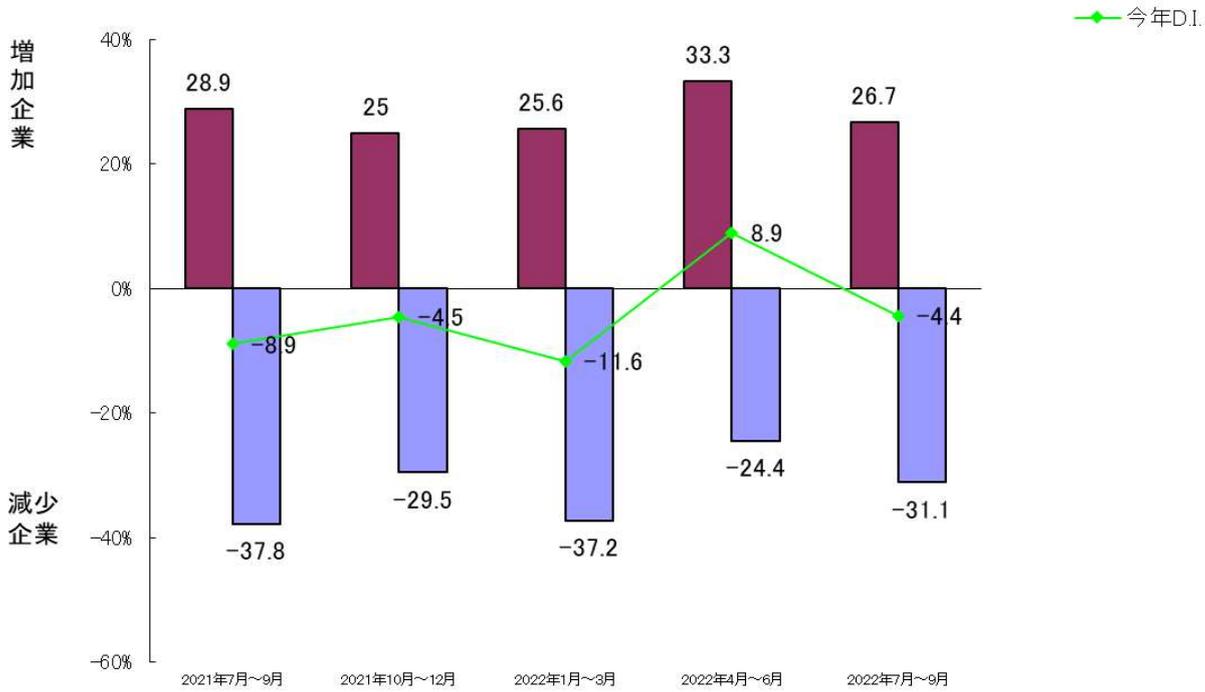
- 企業のコメント
- ・ 新型コロナの感染者数増加による国や県からの規制がない中で、受注数の減少は円安や値上げ等が原因であると思われる。特に原材料の高騰は直接的に影響が大きく今後も不安である。
 - ・ 昨年、カキの浜値の上昇により、近年にない高い水準の製品在庫を抱えている。原材料、補助資材の価格上昇を見据え、更なる売価引上げが今後の課題となる。
 - ・ 原材料価格の上昇が激しすぎて対応できない。
 - ・ 組立部品の調達遅れの為、当社で制作している部品の一部が、ストップしている。調達の目途が立たない状況である。
 - ・ 今期前半が終わり9月から後半に入る。売上としては従来の3割ダウンで苦戦している。徐々にではあるが引き合いも増え始め、車関連以外の発注も出はじめた。今期は厳しい期となり後半に期待している。
 - ・ 原材料や燃料の上昇により利益の悪化を感じている。価格を上げているが、そのことによる需要が若干低くなっているようだ。

製造業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島県 製造業

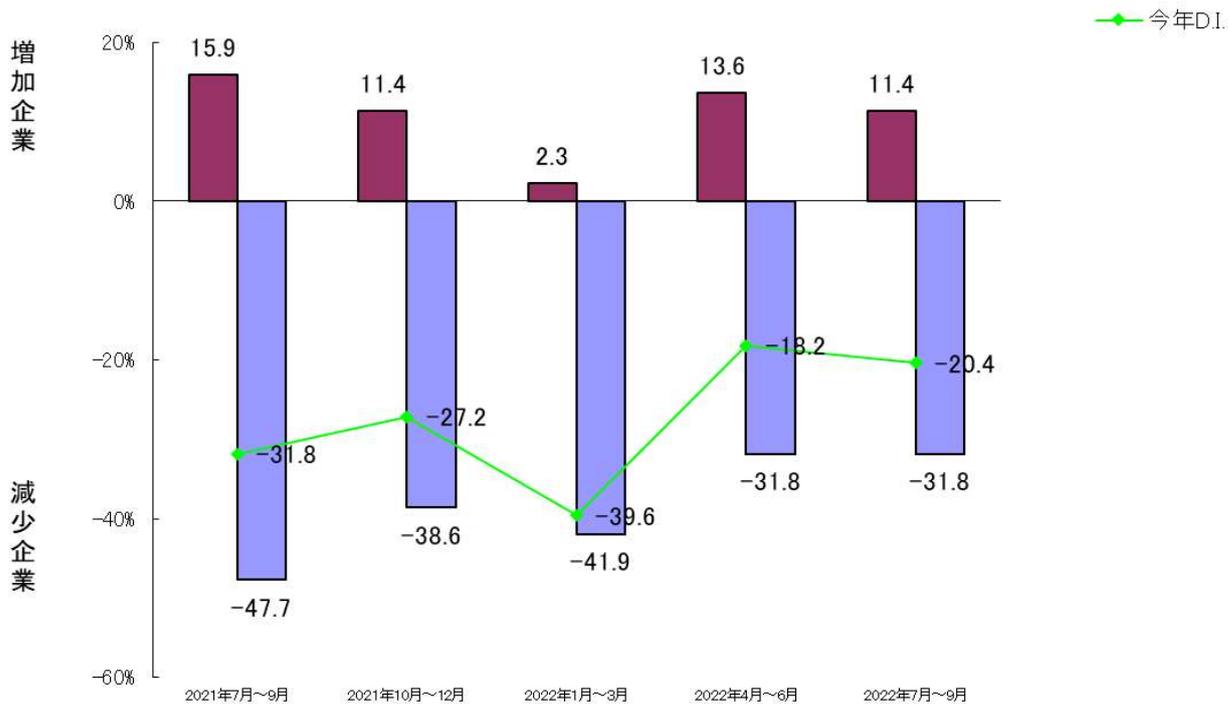
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 製造業

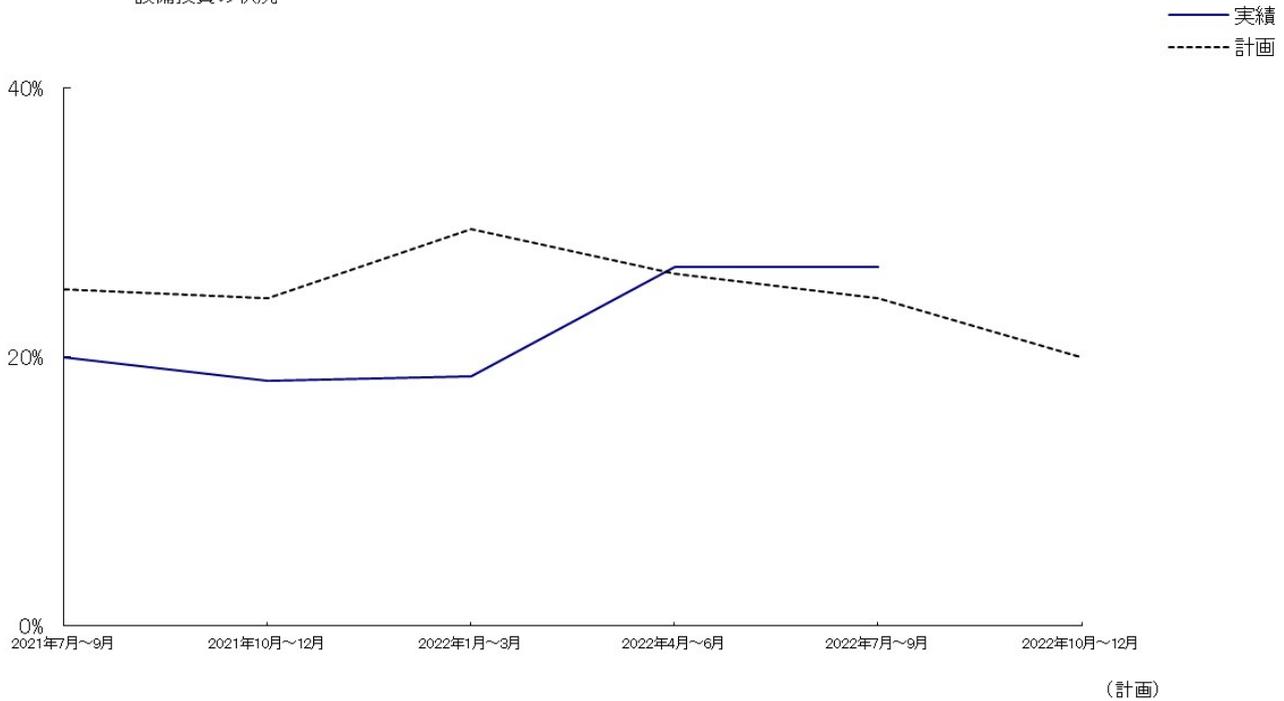
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 製造業

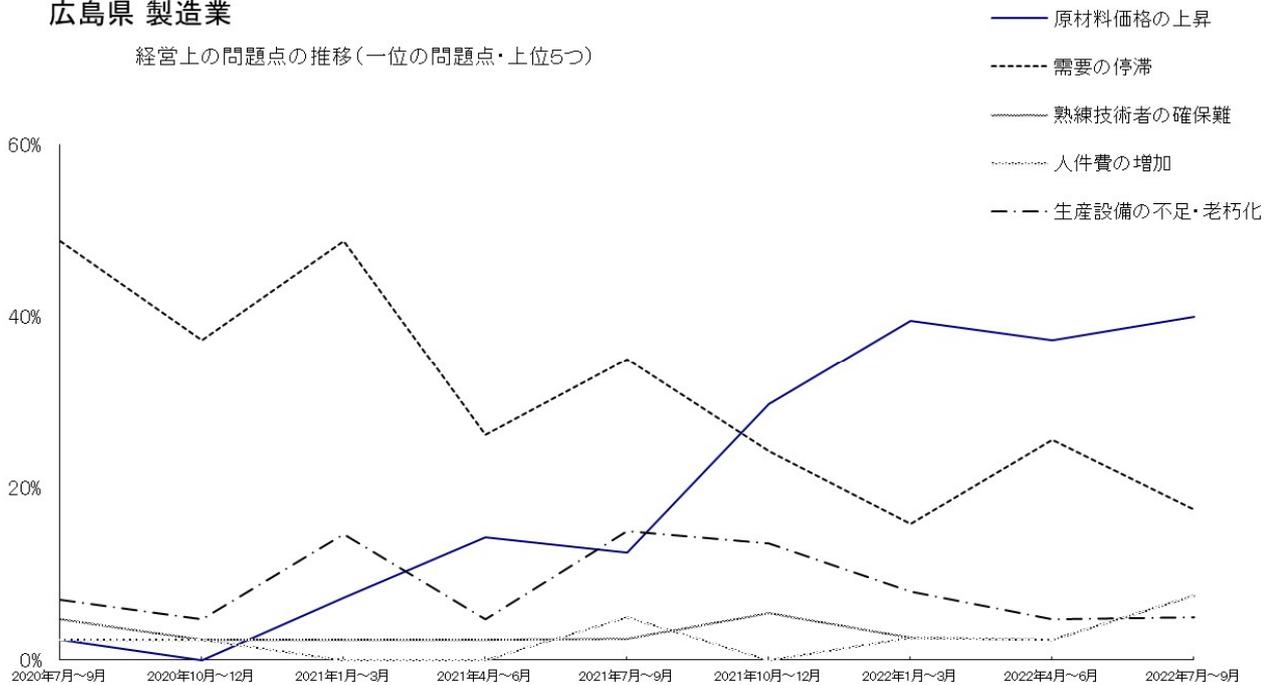
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



建設業（商工会地域）

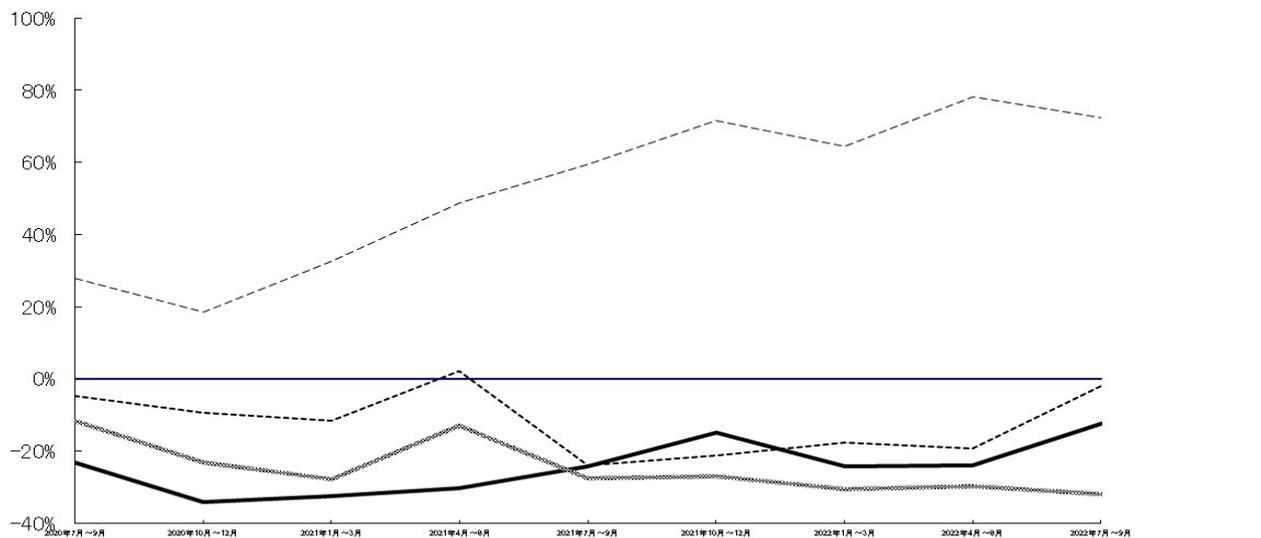
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R4.4～6	R4.7～9	前期との比較	R4.10～12	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-24.0	-12.5	↗	-20.8	↘	
材料仕入単価	78.2	72.3	↘	61.7	↘	
採算	-29.7	-31.9	↘	-14.9	↗	
資金繰り	-19.2	-2.1	↗	-8.3	↘	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D. I



..... 企業のコメント

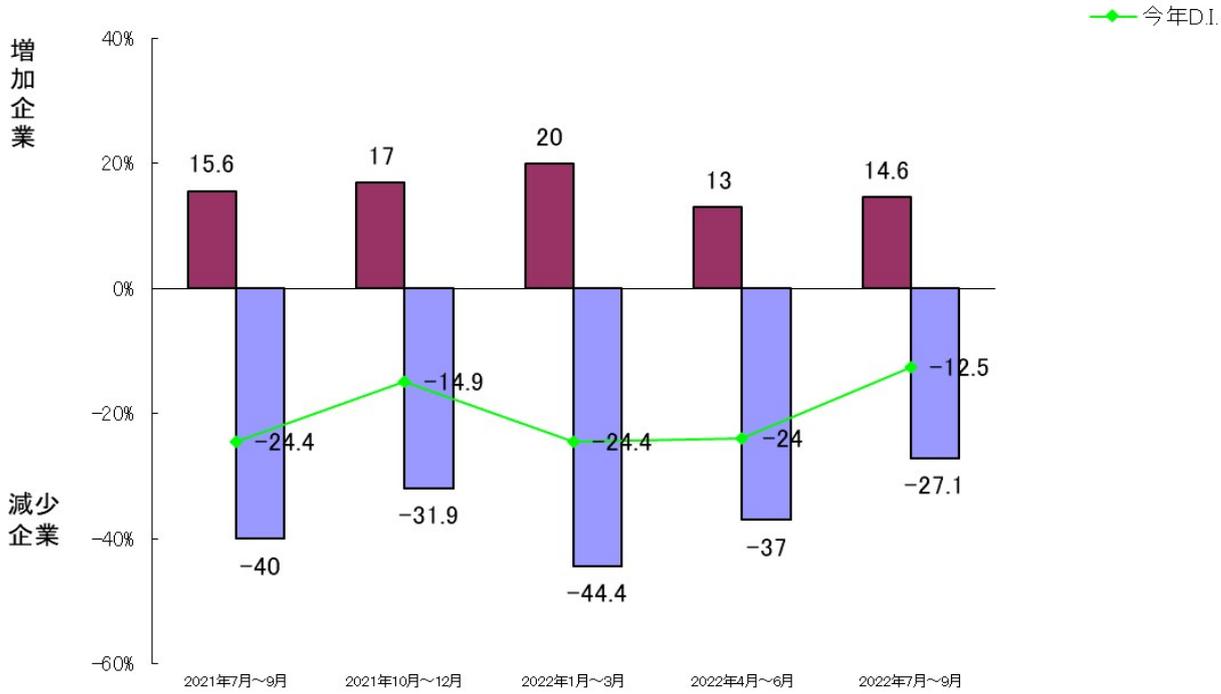
- ・ 現在は、コロナの影響有りの前年と同様であるが、商品の値上がりが大きく、その影響が出てくる事が今後は予想される。商品の入荷の遅れとあわせて、まだしばらくは油断が出来ない状況が続く見込みである。
- ・ 仕入先の資材高騰により利益が少ない。
- ・ 下請けに支払う金額が多く利益が少ない。
- ・ 日本経済の動向を注視し、当社事業の改革を進めていく。
- ・ 資金繰りに変化はないが、材料仕入単価の上昇が改善されそうにない。
- ・ 全体的に仕事量が少ない。忙しくない。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

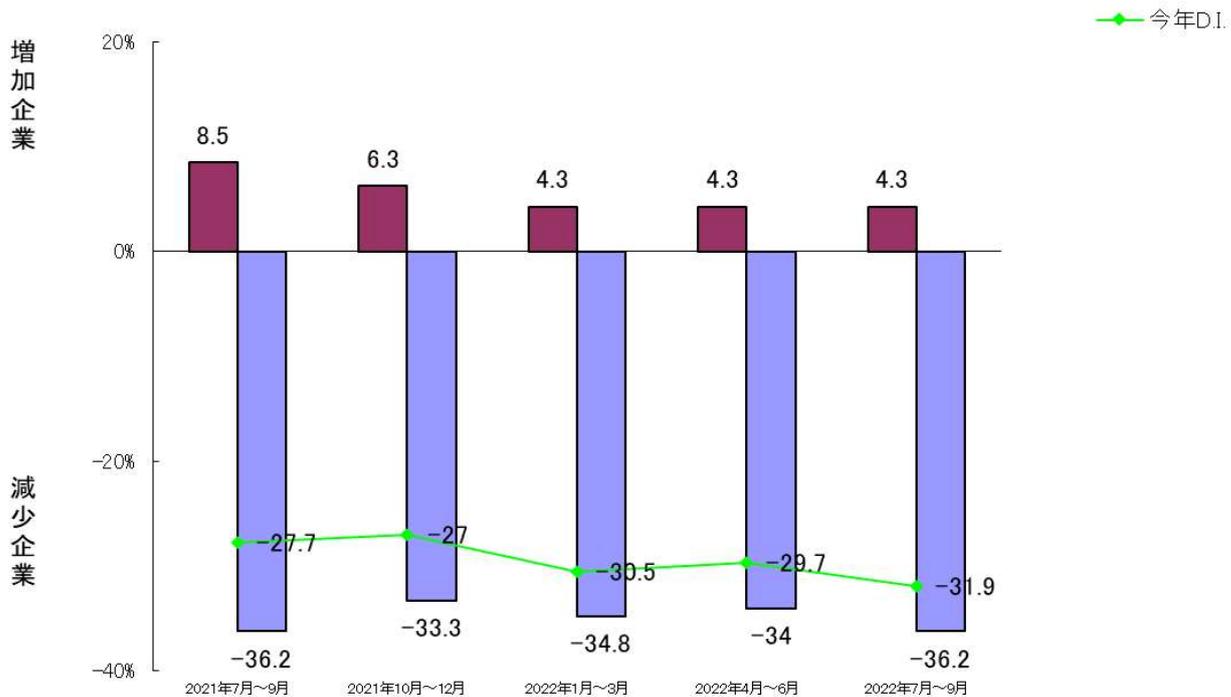
完成工事額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

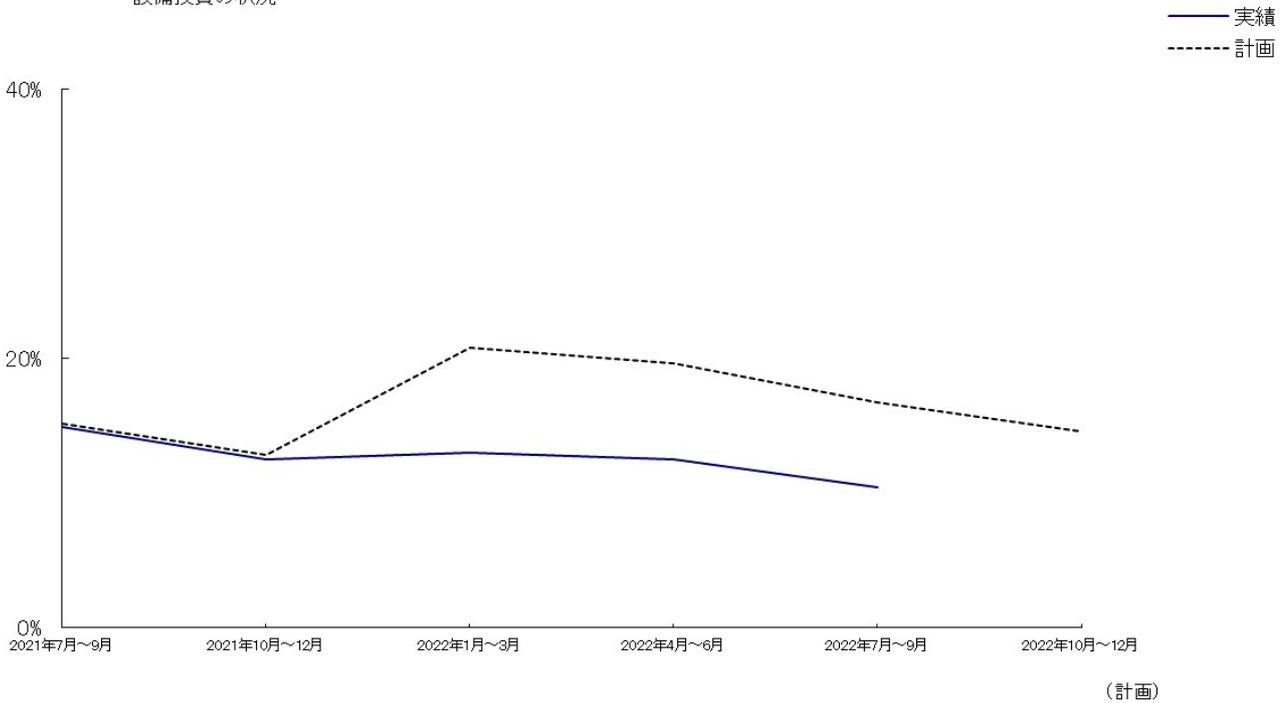
採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 建設業

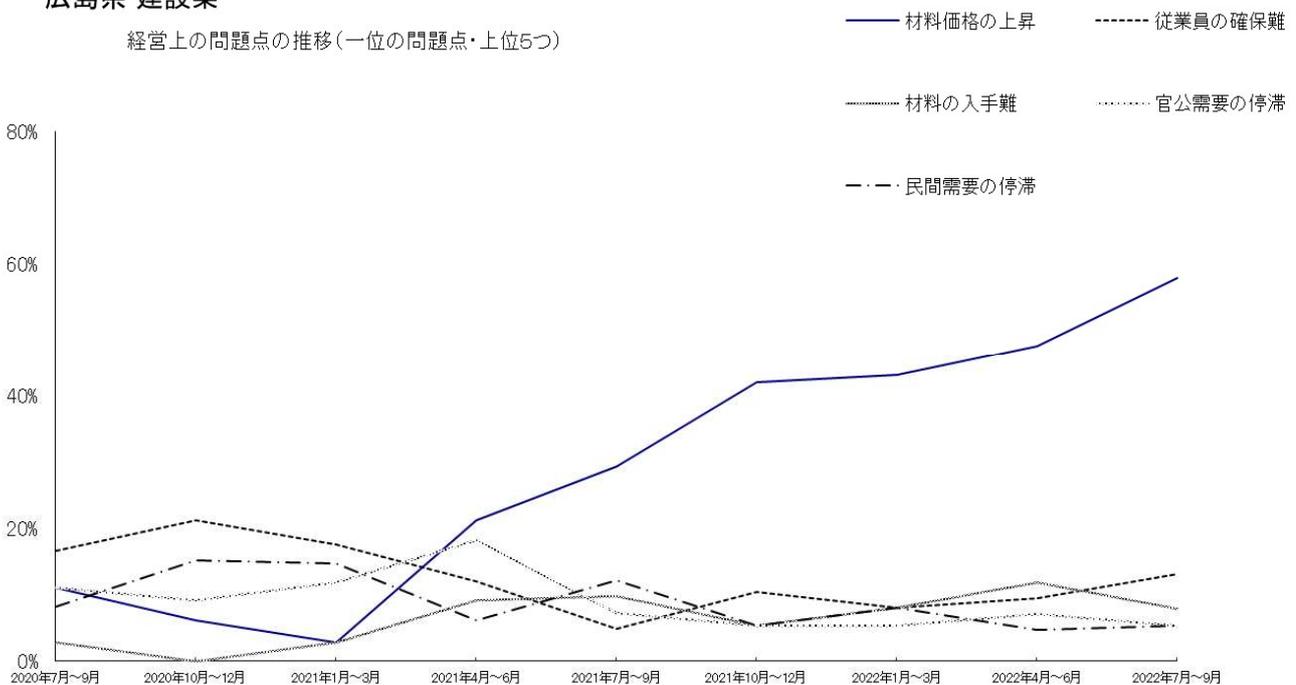
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



小売業（商工会地域）

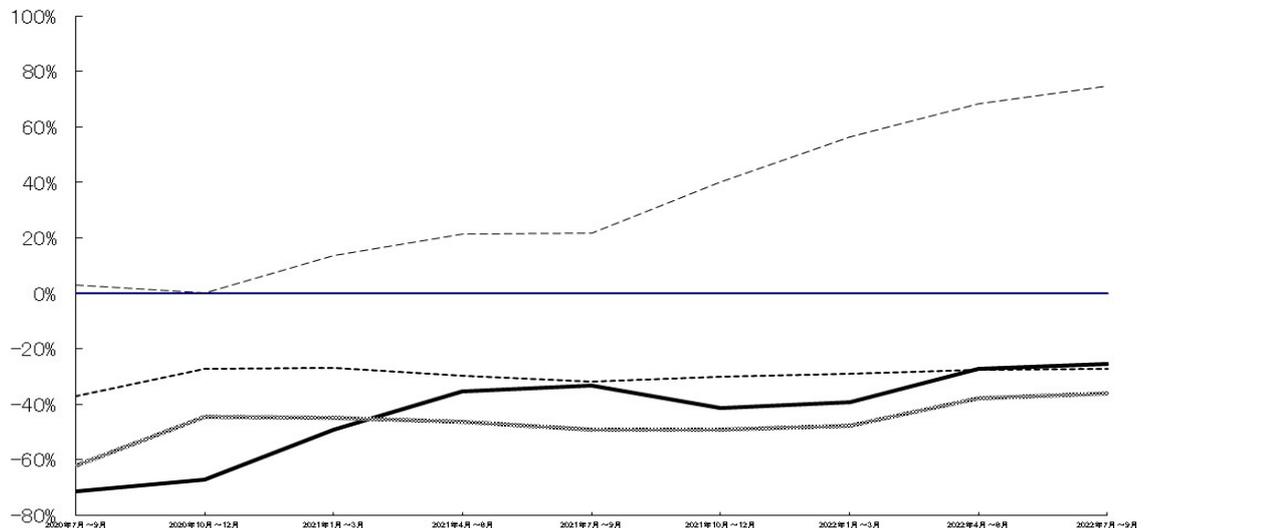
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R4.4～6	R4.7～9	前期との比較	R4.10～12	今期との比較	
売上額	-27.2	-25.4	→	-37.1	↓	
商品仕入単価	68.6	74.7	↗	65.7	↓	
採算	-37.7	-36.2	→	-31.9	↗	
資金繰り	-27.5	-27.1	→	-27.5	→	

広島県 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D.1



..... 企業のコメント

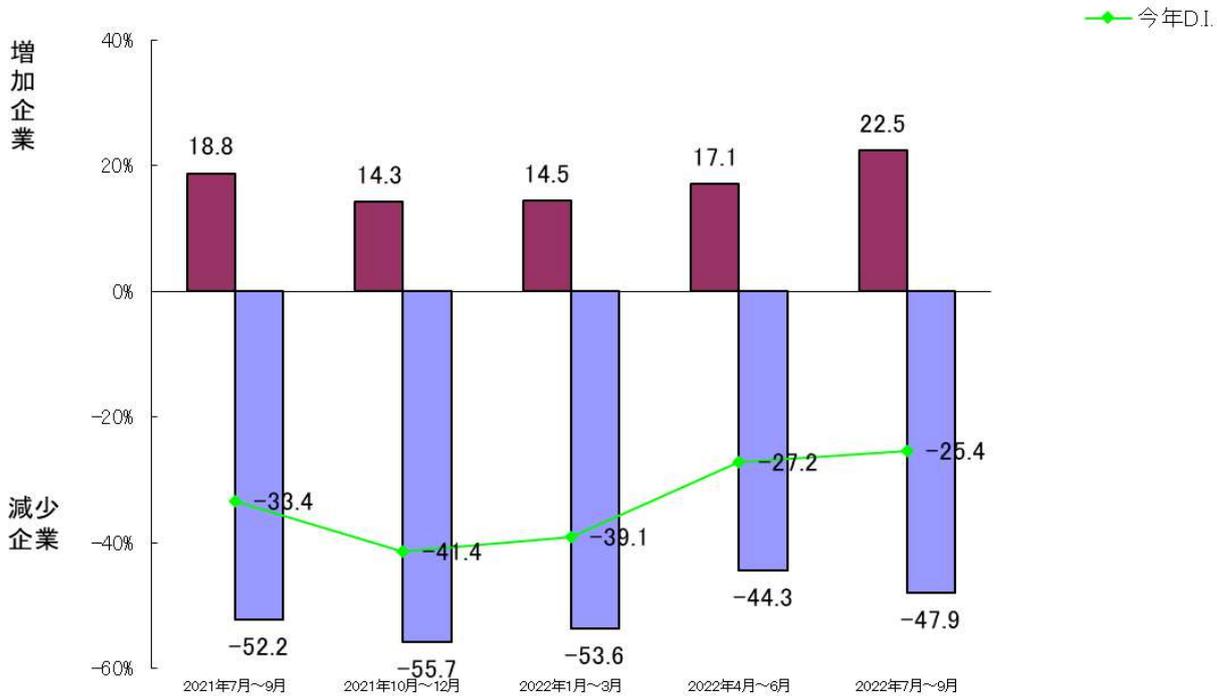
- ・ 需要の停滞が引き続き影響している。国の補助金が入っているうちは良いが、止まった時を想定すると心配である。今のうちに体制強化と資金の確保をしておかなければならない状況です。
- ・ 現在一番心配しているのは物価の上昇である。電気代の急上昇による固定費の増加、商品の値上がりによる仕入れ単価の上昇。またそれによる需要の停滞がより鮮明になるのではと心配する。
- ・ 仕入単価は、ここ10年で1割～2割上昇しているのに対して、販売価格は据え置きのままになっているものが多いので利益率がどんどん悪くなっている。
- ・ コロナ状況悪化の中で客数減少傾向が続くと感じている。仕入れ単価も徐々に上がっている。地域の各種イベントも自粛気味で全体的に需要の冷え込みが続くと予想している。事業者間取引も停滞気味。
- ・ 業況は不変であるが、工事材料等(商品)仕入単価上昇また送料手数料付が多くなった。また振込手数料も殆どの業者が自己負担になる。年間経費増加になる。他の問題点も見直し改善する必要がある。
- ・ 度重なる原材料や包装資材など仕入価格の高騰により7月より値上げを行い、また、経営努力として商品の品質改善と包装の工夫で一日当たりの売上数字は上昇。しかし、まだまだ続く仕入価格の高騰は脅威です。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

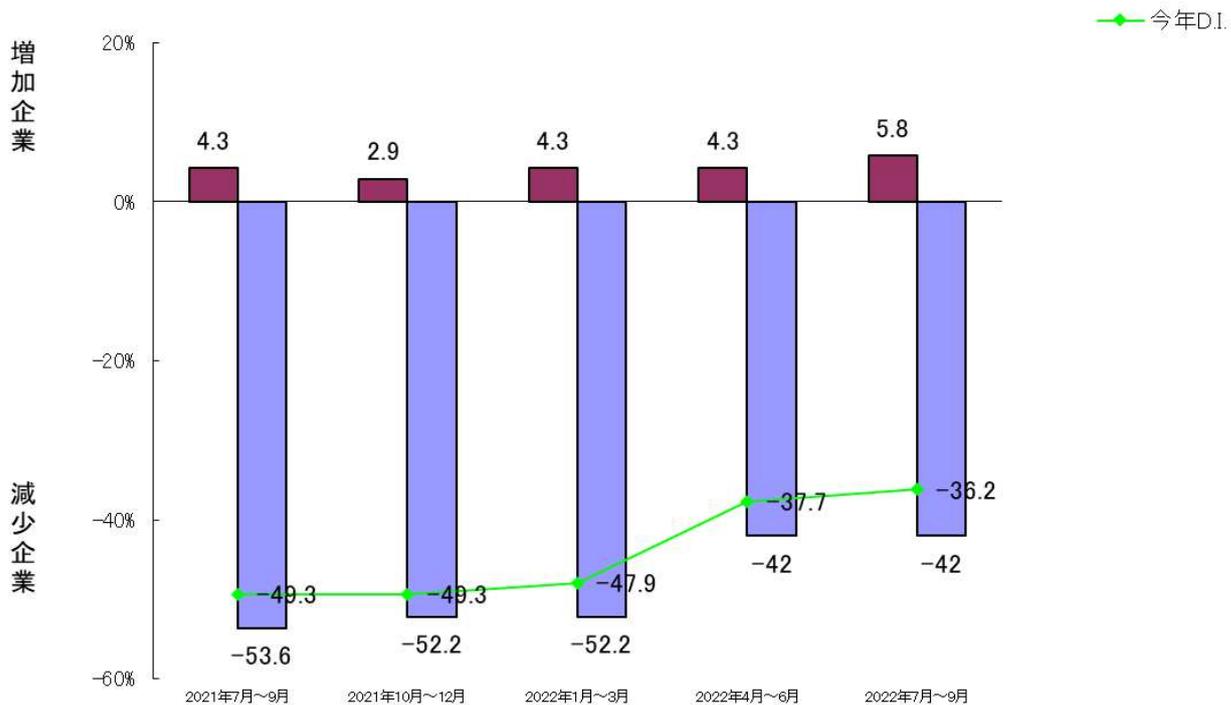
売上額の状況-前年同期比-



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 小売業

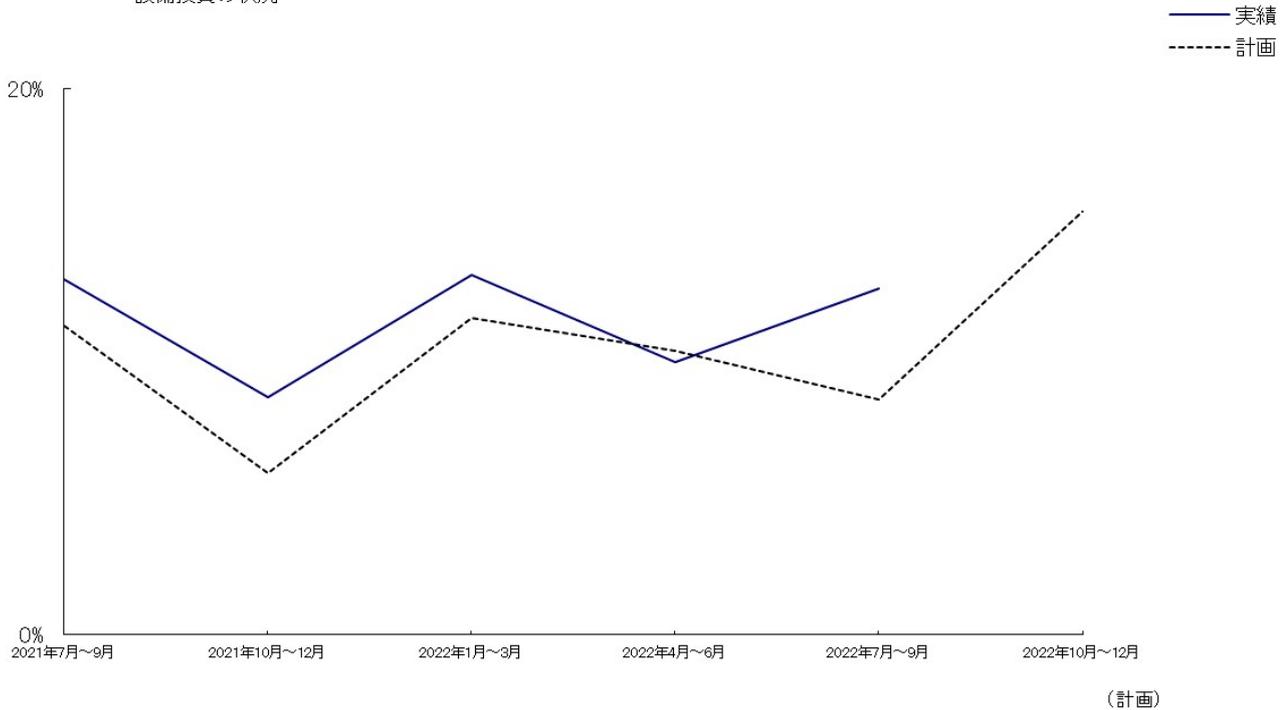
採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 小売業

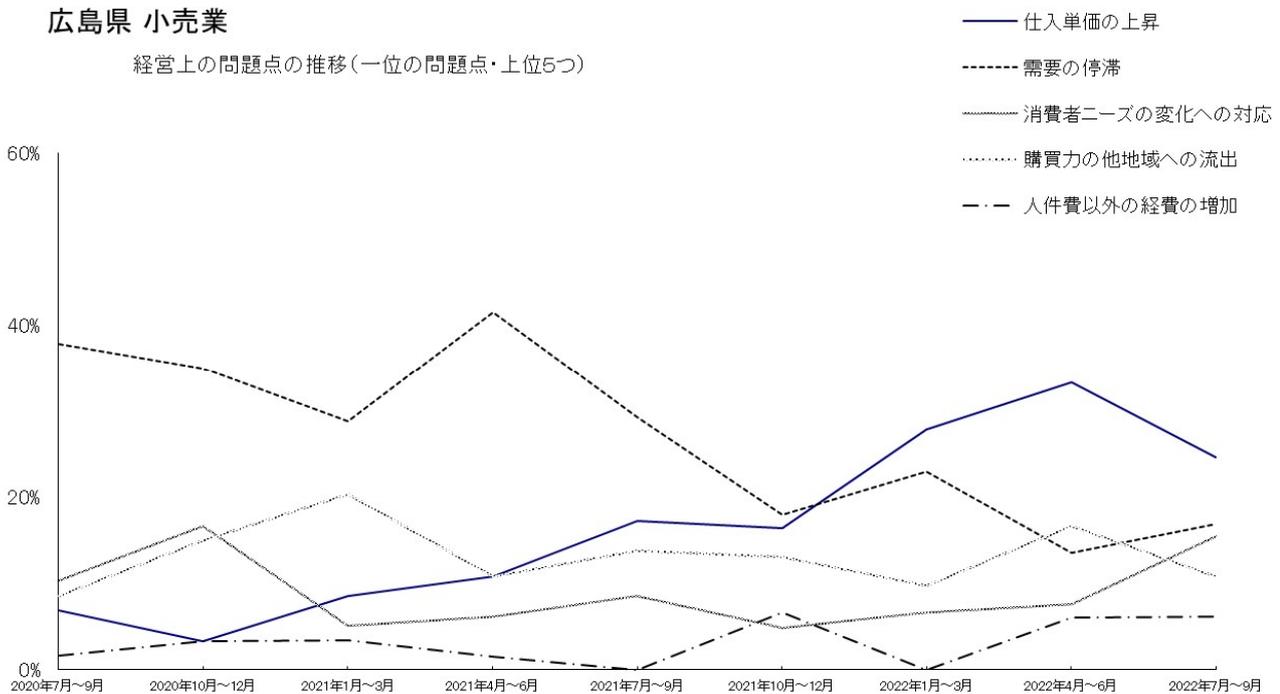
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

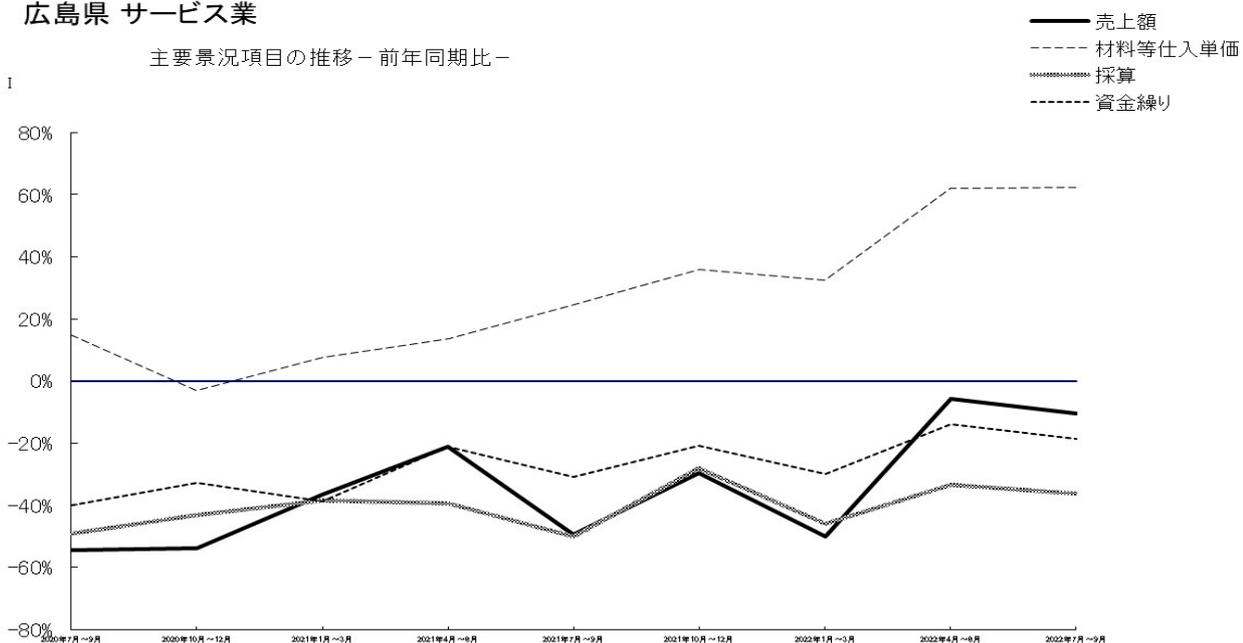
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R4.4～6	R4.7～9	前期との比較	R4.10～12	今期との比較
売上額	-5.9	-10.4	↓	-20.9	↓	
材料等仕入単価	62.1	62.2	→	56.1	↓	
採算	-33.3	-36.3	↓	-41.0	↓	
資金繰り	-13.8	-18.7	↓	-21.9	↓	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



..... 企業のコメント

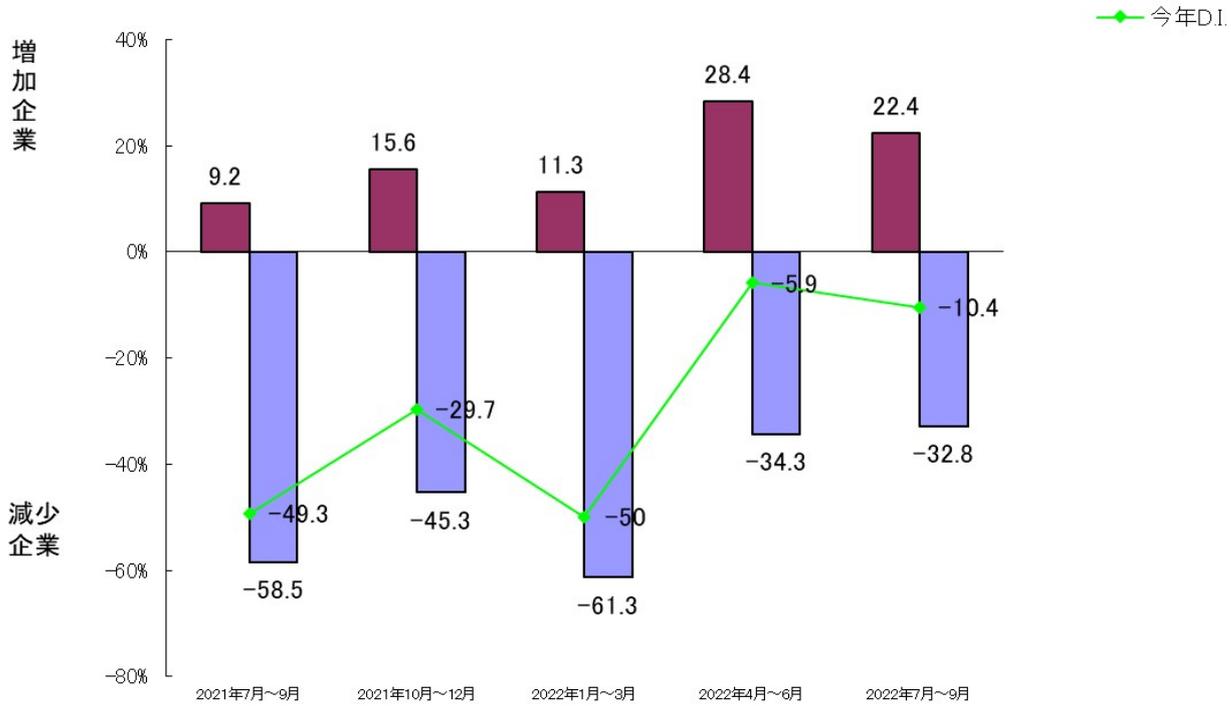
- ・新型コロナウイルス感染症の規制緩和により人の動きも活発化してきた。反面、三度目のコロナ禍のお盆休暇、感染対策をしながらの移動。しかし中々通常の様には売上も伸びず、苦心の日々である。
- ・従業員の確保難がずっと続いている。
- ・昨年は8月末から35日間非常事態宣言でテイクアウト限定で営業した。今年はそれはないが1万品目以上の値上げが実施され、夏にはコロナ第7波から行動の自粛と消費の節約が進み、売上は大きく伸びそうにない。
- ・コロナ禍で感染者が増加する中で予約キャンセルや利用控えが相次いでいる。水道光熱費に係るエネルギー高騰が経営圧迫に大きく影響している。
- ・設備投資の話をする前に人材を確保しなければならない為、新たな設備投資は難しいと思われる。
- ・コロナ当初よりは少し持ち直してきているように感じるが、3年間の売上低下の影響が今も続いている。
- ・コロナによる先行き不透明感が続いている。物価は上昇しているが、なかなか価格に反映できない。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) 前年同期比

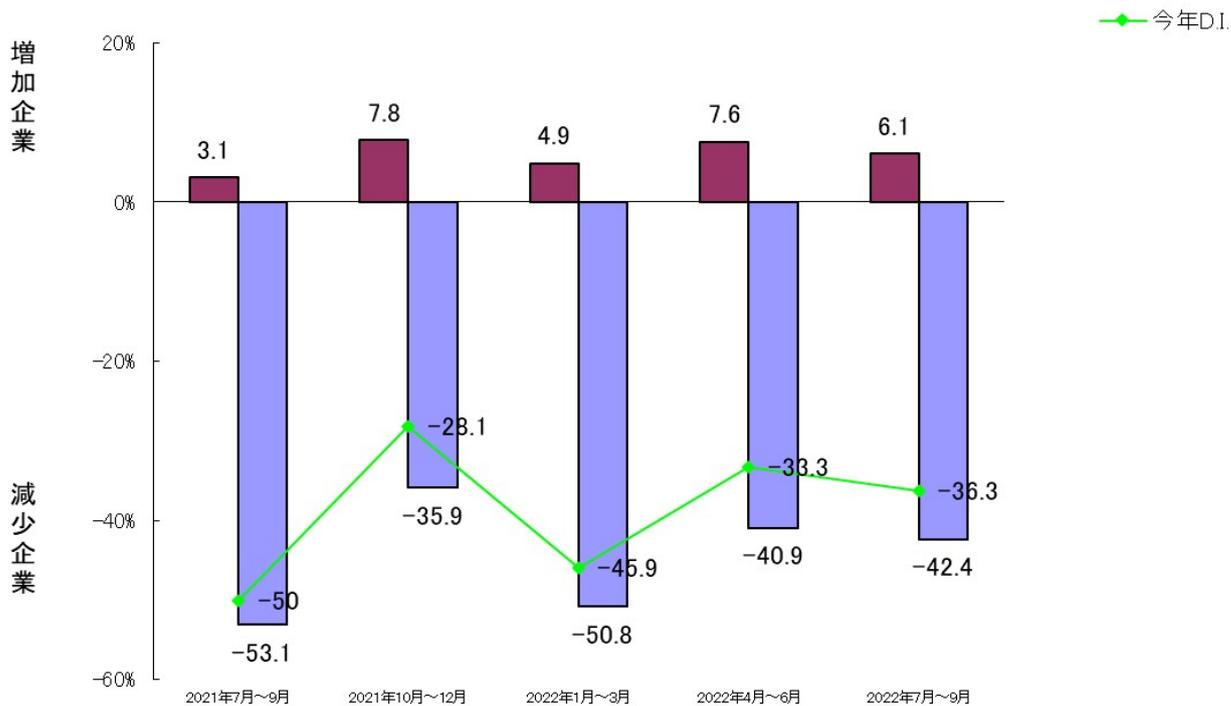
広島県 サービス業

売上額の状況 - 前年同期比 -



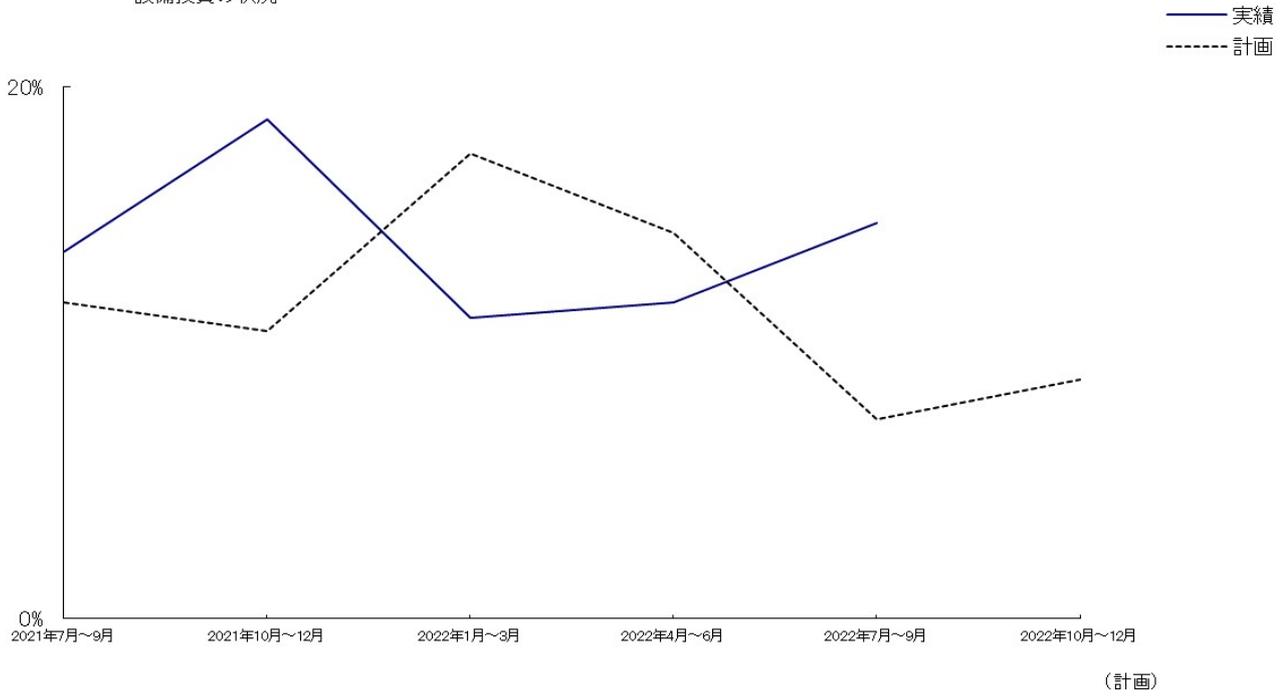
広島県 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

